

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
34107	情報サービス演習Ⅱ Practicum of Information ServicesⅡ	田中真由美			1	選択	1、2後期
科目の概要							
図書館の情報サービスと各種情報源について学び、実例をもとにした演習を行う。また、対人サービスや情報検索サービスなどの知識と体験を通して、司書にとって必要な課題解決型の能力を身につける。これらはディプロマポリシーの①から⑤のすべてに相当するものであり、①から⑤を着実に身につけるための演習を行う。★情報サービス担当司書のレファレンスサービスを行う際には、社会人基礎力を身に付けること、真心・努力・奉仕・感謝の精神をもって人と接することが必要であることを学ぶ。利用者の情報要求を明らかにし、的確に回答するためのレファレンスインタビューの手法を理解する。							
学修内容				到達目標			
① レファレンス・ブック（参考図書）の使い方を理解する。 ② インターネット上のレファレンスツール（Web）の使い方を理解する。 ③ 実際にあったレファレンス事例から実践的なレファレンス課題を行う。 ④ パスファインダー作成を通じて、発信情報型サービスを理解する。 ⑤ カウンターにおけるコミュニケーションの重要性について理解する。				① レファレンスブックの使用方法を理解し、使用することができる。（ディプロマポリシー②） ② Web情報源の活用の仕方を理解し、レファレンス回答に使用することができる。（ディプロマポリシー⑤） ③ 授業で学んだ各種ツールを使用して、演習課題に取り組むことができる。（ディプロマポリシー③） ④ パスファインダーの特性を理解して、パスファインダーを作成することができる。（ディプロマポリシー④） ⑤ コミュニケーションの重要性を意識しながら簡単なレファレンス受理・回答することができる。（ディプロマポリシー①）			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	情報サービスを理解するという目標に向かって、自ら進んで図書館へ足を運ぶことができる。					
	働きかけ力	難しい課題が出題されても、最後まで取り組むことができる。					
	実行力	図書館の情報サービスを利用できる。					
考え抜く力	課題発見力	演習課題行う際、回答できなかった原因を考え、次の回答に活かすことができる。					
	計画力						
	創造力	情報サービスの演習について、数種類の資料提示・回答方法を考えることができる。					
チームで働く力	発信力	情報サービスの課題について、回答をわかりやすく簡潔にまとめることができる。					
	傾聴力	他者が行った情報サービスの回答等を聞いて、感想やアドバイスを述べることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻・無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：三訂情報サービス演習，原田智子，樹村房。 参考文献：授業の中で紹介する。							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：図書館に関する科目全て、特に情報サービス論 資格との関連：図書館司書							
学修上の助言				受講生とのルール			
ほぼ毎回、課題を出す。授業に出ていないと課題への対応が難しいので欠席しないこと。				6回以上の欠席は0（放棄）判定となる。 欠席した場合は、Google Classroomに掲載してある資料を使って復習しておくこと。 欠席した場合でも課題提出は必須である。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
		レポート	60	①	✓	
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①				
		②				
		③				
		④	✓			
		⑤				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀)評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の合計点が54点以上獲得できている。 ・成果発表（パスファインダー）の合計が27点以上獲得できている。 ・社会人基礎力にある学修態度が9割以上達成できている。 <p>A(優)評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題12回分の合計点が48点以上獲得できている。 ・成果発表（パスファインダー）が24点以上獲得できている。 ・社会人基礎力にある学修態度が8割以上達成できている。 	<p>B(良)評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の合計点が42点以上獲得できている。 ・成果発表（パスファインダー）が21点以上獲得できている。 ・社会人基礎力にある学修態度が7割以上達成できている。 <p>C(可)評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の合計点が36点以上獲得できている。 ・成果発表（パスファインダー）が18点以上獲得できている。 ・社会人基礎力にある学修態度が6割以上達成できている。或いは、達成には至らないが努力できている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 情報サービスとは？ (基礎知識の獲得) 情報サービスの設計 (基礎知識の活用)	講義 毎回の講義と課題はGoogle Classroomに掲載する。 学生は自分のPCを使って講義資料を参照し、課題に取り組む 質疑応答	情報サービスとは何か説明できる	(復習・宿題) 図書館とは何か、情報サービスとは何かについて、他人に説明できるようにしておく。 (予習) 自分が住んでいる自治体の人口統計を調べてセグメント化し、それをもとにどの層に対してどのような情報サービスを行うのが適切か考えておく。	90	主体性 実行力 規律性
2	レファレンスコレクション レファレンスコレクションと問題解決過程 レファレンスコレクションの評価 (基礎知識の獲得・活用)	講義 課題提出・発表、フィードバック(教員によるコメント) 毎回の講義と課題はGoogle Classroomに掲載する。 学生は自分のPCを使って講義資料を参照し、課題に取り組む 質疑応答 演習	宿題について、わかりやすくまとめ、発表することができる。 レファレンスコレクションの評価法について理解できる。	(復習・宿題) 住んでいる自治体の図書館に、ミッションステートメントやサービス方針がウェブサイト上で公開されているか調べる。 (予習) 言葉・文字に関する情報源と事象・事項に関する情報源に該当するレファレンスブックを図書館で探し、概要を言えるようにしておく。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
3	言葉・文字に関する情報源の評価 事象・事項に関する情報源の評価 (基礎知識の獲得)	講義 課題提出・発表、フィードバック(教員によるコメント) 毎回の講義と課題はGoogle Classroomに掲載する。 学生は自分のPCを使って講義資料を参照し、課題に取り組む 質疑応答 演習	前回の宿題についてわかりやすくまとめ、発表することができる。 事象・事項に関する情報源の評価法について理解できる。	(復習・宿題) 各自指定された資料の解題作成と評価をする。 (予習) 歴史・日時に関する情報源、地理・地名に関する情報源、人物・団体に関する情報源に該当するレファレンスブックを図書館で探し、概要を言えるようにしておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
4	歴史・日時に関する情報源の評価 地理・地名に関する情報源の評価 人物・団体に関する情報源の評価 (基礎知識の獲得)	講義 課題提出・発表、フィードバック(教員によるコメント) 毎回の講義と課題はGoogle Classroomに掲載する。 学生は自分のPCを使って講義資料を参照し、課題に取り組む 質疑応答 演習	前回の宿題についてわかりやすくまとめ、発表することができる。 地理・地名に関する情報源の評価法について理解できている。 人物・団体に関する情報源の評価法について理解できている。	(復習・宿題) 『角川日本地名大辞典』(角川書店)と『日本歴史地名大系』(平凡社)それぞれから、同じ県(都・道・府)の巻を選んで、比較して、気づいたことを書く。 (予習) 文献検索用情報源に該当するレファレンスブックを図書館で探し、概要を言えるようにしておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
5	文献検索用情報源の評価 書誌・目録の評価 記事索引の評価 (基礎知識の獲得)	講義 課題提出・発表、フィードバック(教員によるコメント) 毎回の講義と課題はGoogle Classroomに掲載する。 学生は自分のPCを使って講義資料を参照し、課題に取り組む 質疑応答 演習	前回の宿題についてわかりやすくまとめ、発表することができる。 書誌・目録の評価について理解できている。 記事索引の評価について理解できている。	(復習・宿題) 地域に関する複数の新聞記事の見出しを検索できるウェブ情報源のうち、町村立図書館によって提供されるものを探し、その特徴を書く。 (予習) レファレンスプロセスの流れを暗記する。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
6	レファレンスプロセスの概要と、レファレンス質問の種類 レファレンスインタビューの方法・戦略 (基礎知識の獲得・活用・応用)	講義 課題提出・発表、フィードバック(教員によるコメント) 毎回の講義と課題はGoogle Classroomに掲載する。 学生は自分のPCを使って講義資料を参照し、課題に取り組む 質疑応答 演習	前回の宿題についてわかりやすくまとめ、発表することができる。 レファレンスインタビューの方法について理解し、模擬で実施できる。	(復習・宿題) 授業で実践したレファレンスインタビューから判明した、インタビューをするうえで重要なことをノートにまとめる。 (予習) 言葉・事象に関する情報を調べる際に使用するレファレンスツールを図書館に行き確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
7	言葉・事象に関する情報の調べ方 (基礎知識の獲得・活用・応用)	講義 課題提出・発表、フィードバック(教員によるコメント) 毎回の講義と課題はGoogle Classroomに掲載する。 学生は自分のPCを使って講義資料を参照し、課題に取り組む 質疑応答 レファレンス課題5題 演習	前回の宿題についてわかりやすくまとめ、発表することができる。 言葉・事象に関する情報の調べるために、どの情報源を使用したらよいか理解できている。	(復習・宿題) 配布した資料を「言葉・事象の調べ方」に注意しながら課題を仕上げる。 (予習) 歴史・日時に関する情報を調べる際に使用するレファレンスツールを図書館に行き確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	歴史・日時に関する情報の調べ方 (基礎知識の獲得・活用・応用)	講義 課題提出・発表、フィードバック(教員によるコメント) 毎回の講義と課題はGoogle Classroomに掲載する。 学生は自分のPCを使って講義資料を参照し、課題に取り組む 質疑応答 レファレンス課題5題 演習	前回の宿題についてわかりやすくまとめ、発表することができる。 歴史・日時に関する情報の調べるために、どの情報源を使用したらよいか判断することができる。	(復習・宿題) 「歴史・日時の調べ方」に注意しながら、課題を仕上げる。 (予習) 地理・地名に関する情報を調べる際に使用するレファレンスツールを図書館に行き確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	地理・地名に関する情報の調べ方 (基礎知識の獲得・活用・応用)	講義 課題提出・発表、フィードバック(教員によるコメント) 毎回の講義と課題はGoogle Classroomに掲載する。 学生は自分のPCを使って講義資料を参照し、課題に取り組む 質疑応答 レファレンス課題5題 演習	前回の宿題についてわかりやすくまとめ、発表することができる。 地理・地名に関する情報の調べるために、どの情報源を使用したらよいか判断することができる。	(復習・宿題) 「地理・地名の調べ方」に注意しながら授業で行った課題を仕上げる。 (予習) 人物・団体に関する情報を調べる際に使用するレファレンスツールを図書館に行って確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	人物・団体に関する情報の調べ方 (基礎知識の獲得・活用・応用)	講義 課題提出・発表、フィードバック(教員によるコメント) 毎回の講義と課題はGoogle Classroomに掲載する。 学生は自分のPCを使って講義資料を参照し、課題に取り組む 質疑応答 レファレンス課題5題 演習	前回の宿題についてわかりやすくまとめ、発表することができる。 人物・団体に関する情報の調べるために、どの情報源を使用したらよいか判断することができる。	(復習・宿題) 「人物・団体の調べ方」に注意しながら授業で行った課題を仕上げる。 (予習) 図書・雑誌の書誌データを調べる際に使用するレファレンスツールを図書館に行って確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	図書・雑誌の書誌データの調べ方 (基礎知識の獲得・活用・応用)	講義 課題提出・発表、フィードバック(教員によるコメント) 毎回の講義と課題はGoogle Classroomに掲載する。 学生は自分のPCを使って講義資料を参照し、課題に取り組む 質疑応答 レファレンス課題5題 演習	前回の宿題についてわかりやすくまとめ、発表することができる。 図書・雑誌の書誌データの調べ方について理解できている。	(復習・宿題) 「図書・雑誌の書誌データの調べ方」に注意しながら、授業で行った課題を仕上げる。 (予習) パスファインダーとはどういうものか調べ、発表できるようにノートにまとめる。 パスファインダー作成準備のため公共図書館でパスファインダーを入手する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	発信型情報サービスの意義と方法 パスファインダーなどの新しい発信型情報サービスの意義と方法を学ぶ。 (基礎知識の獲得・活用・応用)	講義 課題提出・発表、フィードバック(教員によるコメント) 毎回の講義と課題はGoogle Classroomに掲載する。 学生は自分のPCを使って講義資料を参照し、課題に取り組む 質疑応答 演習	前回の宿題についてわかりやすくまとめ、発表することができる。 発信型情報サービスの意義を理解し、パスファインダーの作成に着手できる。	(復習・宿題) パスファインダーの特徴をノートにまとめる。 (予習) シラバスを観て、授業で使えるパスファインダー作成のための準備をする。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
13	パスファインダーを作成する (基礎知識の活用・応用)	毎回の講義と課題はGoogle Classroomに掲載する。 学生は自分のPCを使って講義資料を参照し、課題に取り組む 演習	パスファインダーを作成することができる。	(復習・宿題) パスファインダーを仕上げる。 (予習) 図書館利用教育にはどのようなものがあるか調べる。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
14	図書館利用教育 図書館利用教育と情報リテラシーについて学ぶ。 (基礎知識の獲得)	講義 毎回の講義と課題はGoogle Classroomに掲載する。 学生は自分のPCを使って講義資料を参照し、課題に取り組む 質疑応答 演習 パスファインダー提出	図書館利用教育とは、何を指すのか記述することができる。 情報リテラシー育成の意義について理解し、記述することができる。	(復習・宿題) 大学図書館の利用教育について、公共図書館の利用教育と比較し、異なる点を中心にまとめる。 (予習) 自分が作成したパスファインダーについて2分程度で説明できるように準備する。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
15	各自が作成したパスファインダーの紹介 (基礎知識の応用) 情報サービス演習Ⅱを振り返って	講義 質疑応答 プレゼンテーション パスファインダーのフィードバック(教員によるコメント)	自分が作成したパスファインダーについて説明することができる。 他の学生が作成したパスファインダーについて意見を述べることができる。	(復習) 自分が作成したパスファインダーに対して集まった意見を集約して、自己評価する(400字程度にまとめる)。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力